

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[CompatiView および IntraGuard](#)

[該当製品](#)

[Affected Versions](#)

[その他の情報](#)

[関連情報](#)

概要

CompatiView 5.x は、ファイアウォール パスとグローバルなブリッジングが確立された後でのみ、IntraGuard と連動します。これらのセクションが設定内になく、CompatiView の最初のセッションで特に設定されていない場合、CompatiView のデフォルト値は IntraGuard をディセーブルにします。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

CompatiView および IntraGuard

該当製品

- CompatiView
- IntraGuard

Affected Versions

先の CompatiView バージョンより 5.5

その他の情報

これらの Telnet 変更を行なうまで IntraGuard と CompatiView を使用しないで下さい。起こるものが CompatiView を使用して変更を保存を試みるとき CompatiView が設定のこれらのセクションを見なければそれ、それディセーブルにします IntraGuard をです。

IntraGuard へのつまり Telnet は IntraGuard のデフォルトアドレスが 198.41.12.1 であり、プラグインするにイーサネットが 0) ほしいと思うことを続き、(覚えて下さい:

この場合 IntraGuard に CompatiView それ以上の変更を行なうために安全にでき。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)